

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2006-175256(P2006-175256A)

【公開日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-026

【出願番号】特願2006-77866(P2006-77866)

【国際特許分類】

**A 6 3 F 5/04 (2006.01)**

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Q

A 6 3 F 5/04 5 1 2 J

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月20日(2007.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

投入メダルの進路切り替え用セレクタに一対のメダル投入用検出手段が設けられ、回胴の回転中に得られる上記検出手段からの検出出力に基づいて、メダル投入に対するエラー状態を判別するようにしたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

投入メダルの進路切り替え用セレクタに一対のメダル投入用検出手段が設けられ、回胴の回転中に得られる上記検出手段からの検出出力に基づいて、メダル投入に対するエラー状態が判別されると共に、メダル払い出し用検出手段と、異物侵入用検出手段とが設けられ、

メダル払い出しモードでの上記異物侵入用検出手段からの検出出力に基づいて、上記メダル払い出しのエラー状態が判別されることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

メダル払い出し装置を構成するメダルが収容された回転ディスクに設けられたメダル通路に上記異物侵入用検出手段が設けられことを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

上記回胴の回転中に上記検出出力が得られたときは、遊技中の遊技をエラー遊技とすることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の遊技機。

【請求項5】

エラー状態と判別されたときは、1つの遊技単位が終了した段階で、遊技の継続が凍結されることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の遊技機。

【請求項6】

1つの遊技単位とは、入賞によるメダル払い出し終了までであることを特徴とする請求項5に記載の遊技機。

【請求項7】

エラー状態と判別されたときは、上記回胴の回転が停止した直後に、遊技の継続が凍結されることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の遊技機。